







## 新年のごあいさつ

夢サロン作品 干支



廿日市市シルバー人材センター

理事長 岡崎 美弥子



新年明けましておめでとうございます。  
会員の皆様におかれましては、ご家族揃ってお健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、地球温暖化の影響も受け7月には、九州北部の豪雨災害による土砂崩れや増水などにより、集落の孤立、死者、行方不明者を出す大きな被害となりました。被災された皆様には謹んでお見舞い申し上げます。

幾度に渡る北朝鮮の脅威の中、10月には衆議院の「解散総選挙」があり第4次安倍内閣の誕生、トランプ米大統領夫妻の訪日など慌ただしい年の瀬でした。

唯一嬉しいニュースとしては、期待された日本一は逃しましたが広島カープのリーグ優勝は、広島のお景気を促したことは紛れもない事実であります。

さて、廿日市市シルバーは、昭和59年5月廿日市町高齢者事業団として誕生し、平成元年に法人化、平成23年には法改正に基づき、公益社団法人として生まれ変わり、今年で30年目を迎えます。

これも先人の役職員、会員の皆様の事業推進に向けたご支援、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。安倍内閣の「一億総活躍社会」の実現の中で「生涯現役社会の実現に向けた就労のあり方」において、「高齢者活用サポート事業」等、シルバー事業は、国の予算事業の展開を強力に推進して参りたいと思っております。

昨年は第3次中期計画を策定し、5年を目途とした円滑な事業運営と安定した財政運営を目指し、掲げたシルバー事業の目標に向かって、努力を惜しまず邁進して参りたいと思っております。

関係各位におかれましては、変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。本年も皆様の益々のご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



紅葉谷の雪景色

廿日市市シルバー人材センターは、**設立30年目** を迎えます。





## 平成30年を迎えて

廿日市市長 眞野 勝弘



新年、明けましておめでとうございます。

廿日市市シルバー人材センターの会員の皆様におかれましては、健やかで輝かしい新年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

今年は、本市が市制を施行してから30周年という記念すべき年です。

昭和63年4月1日に、市として産声をあげ、平成の大合併を経て、豊かな自然、悠久の歴史と伝統、多様な産業・文化に恵まれたまちとなりました。

去年も、宮島には国内外から多くのお客様にお越し頂き、2年連続で来島者数が過去最多を記録しました。世界遺産「厳島神社」をはじめ、先人達が守り続けてきた自然や、歴史・文化に、多く共感や関心を頂いているようです。

今年は、厳島神社造営に関わった「平清盛公」の生誕900年を迎えるとともに、2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて、メキシコの空手や柔道チームの事前合宿が行われる事になっております。

今後も、将来にわたって住みよいまちであり続けるために、中・長期的な視野に立ったまちづくりを進めて参ります。

シルバー人材センターの皆様におかれましては、長年の経験で培われた豊富な知恵と力をもって、お力添えいただきますことと、健康に十分留意され、日々の仕事に励んでいただきますことをお願い申し上げます。

廿日市市シルバー人材センターの益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

廿日市市議会議長 仁井田 和之



あけましておめでとうございます。

廿日市市シルバー人材センターの皆様におかれましては、新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

岡崎理事長はじめ、役員、会員の皆様には、大型ごみの戸別収集などの独自事業や、各種のボランティア活動により、地域社会に多大な貢献をいただいております、心から敬意を表する次第です。

さて、日本人の平均寿命は世界2位、健康寿命は世界1位で、海外の研究を元にすれば、平成19年に日本で生まれた子供は、107歳まで生きる確率が50%あるとのこととです。

昨年、国は、人生100年時代を見据えた経済・社会システムを実現するための政策のグランドデザインに係る検討を行うため、安倍総理を議長とする「人生100年時代構想会議」を開催され、今年前半には政策パッケージも盛り込んだ基本構想を打ち出すと伺っております。

このようななか、会員の皆様も、豊かな知識と経験を生かし、仲良く共に働くことにより、社会に参加し、喜びや生きがいを見出すとともに、地域社会の活性化に貢献するシルバー人材センターの役割は一層大きくなってまいります。

シルバー人材センターの役割強化と事業の推進に、強力な支援が必要であると承っております。

市議会としましても、しっかり取り組んでまいりたいと考えておりますので、今後とも市議会の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、廿日市市シルバー人材センターの益々のご発展と、新しい年が皆様にとってよい年になりますよう祈念申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。





「一日一生」

大野7区班

森川 範吾

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

今年は年男、7回目の成年です。私は大野自然観察の森に町の雇員として従事していました。この作業が平成13年4月1日からシルバーに移管され、私共もシルバー人材センターの会員として就業することになりました。

その後、班長、理事などの任も果たしてきましたが、班長時代シルバーの合併に伴い退会者が続出、タイムスの配り手がなく4名は何とかなりましたが対応しきれず、自分で配達のやむなきに至り現在まで続けております。理事時代には公園の管理業務の就業者を探すことに苦労したり班会議に出席して会員の就業先の賃金が安いなどの意見が出て就業先の企業へ賃上げの交渉し、会員から礼に来てもらったなど種々思い出があります。「構成員の困り事があれば組織の力で解決する、これができなければ組織の存在価値はない」というのが私の若い時からの持論です。

就業以来17年になりますが、理事時代に知人が20年表彰を受けたのを見て、私もそれまで頑張れたらと強く刺激を受けた思いがあります。理事退任後は、社協の生活支援員、やすらぎ支援員、認知症のキャラバンメイト、市民後見人等と高齢者対象のボランティア活動で多忙なれど充実した日々を過ごしております。人生100年時代、健康で世の中に役立つことができれば幸いです。

私に与えられる公私の仕事を、自らの健康と時間と能力の及ぶ限り誠実に全うしていきたい。源泉混混、不舍昼夜といえます。

控え目に生きる幸せを感じつつ、「一日一善、一日一仕事、一日一学、一日一生」今年もよろしく



「年女の元旦の計によせて」

廿日市班

井上 愛子

あけましておめでとうございます。

今年は成年で、私は6回目の年女というありがたい年を迎えることとなりました。

今年の成年は人生に於いて最終のスタートラインに立ったと思い、今までにない節目を感じております。

現在は、シルバー人材センターから依頼された仕事を行い、健康のためのウォーキング、無農薬野菜の栽培と趣味の絵画の鑑賞を楽しんでいます。

朝無事に目覚めると「今日を無駄に過ごさないように頑張らなければ！」という気持ちで起きます。

そして、明日或は百歳まで生き得るならば“我が人生を自分なりに全うした”と思えるように笑って前向きに生きることが年女の元旦の計です。

皆様今年もよろしくお祝い申し上げます。



「年男を迎えて、新たなスタート」

下平良班

白井 節昭

明けましておめでとうございます。

私は、42年間のサラリーマン生活を経て、最初の一年間は、少しのんびりと生活し平成19年4月には、生活にリズム感を取り戻すために、シルバー人材センターの会員にさせていただき、これまで各イベントでのテントの設営、撤去、市民センターの管理業務など、今まで10種以上の仕事を担当させていただきました。

思い返せば、私の一番うれしい出来事がありました。それは、市民センターの勤務最後の日、地域の親御さんと子供さん達から、大きな花束をいただき、予期していなかった出来事に大変感激した事です。

私は、入会当初から掲げていた10年の目標を昨年3月に、無事、迎えることができました。これも、これまでに多くの会員の皆様や、地域の方々の支えがあったからこそだと感謝しています。本当に長い間、ありがとうございました。

今年の抱負では、「第2の人生」にも一つの区切りとし、今後は自分に与えられた残りの時間を大切に、趣味のソフトテニス、オートバイなど、何事にも無理をしないで、自然体で新たなスタートをしたいと思っています。

結びに、廿日市市シルバー人材センターの益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝、ご多幸とご活躍を祈念申し上げます。



# センター女性会員の活動

## 第11回 女性会員全体会並びに親睦会

\*\*\*\*\*

毎年3月頃に開催するセンター女性会員の全体会（女性部会）では、前年度の活動報告に続いて新年度活動計画を立てスタートします。

平成29年3月、岡崎理事長の活動激励



山口部会長



- H29 活動計画・行事など
- 4月～さくら祭り
  - 5月～石鹼づくり
  - 7月～交流会（レクリエーション）
  - 9月～講習会参加
  - 10月～石鹼づくり
  - 11月～先進地視察
  - 11月～あいプラザ福祉祭
  - 翌年2月～女性会全体会
  - その他役員会～必要に応じ

### 環境にやさしい手作り石鹼 エコヒカ



女性会役員の見察研修会



府中町 SC

就業を通じて地域社会で活躍します  
☆ 社会福祉協議会 府中町シルバー人材センター

せ日市市シルバー人材センターの  
**託児サービス**  
**なかよしルーム**

豊富な経験と能力を活かし、心のこもったサービスをご提供します。



行事への参加：さくら祭り～福祉祭

↑託児所「なかよしルーム」は、昨年の9月から、センター事務局1階に移転しました。

寄ってみんさい  
**夢サロン**

手芸・小物づくり  
縫製～楽しんで！

託児所 **なかよしルーム**  
☎ 070-3777-6611(直)

小物販売

センターの女性会員は、高齢者家庭の家事援助のほか現役世代を支援する託児、また人材不足分野の企業・事業所への派遣事業など、仕事を通じ地域社会で活躍しています。これらのほか、女性会（女性部会）の活動では、市域内の各種行事・イベントに積極的に参加し、炊込みご飯やエコ石鹼の販売などでシルバー事業を広く市民へアピールしています。しかしながら、会員数全体に占める女性会員の構成率は全国平均の約33%を下回る23%程度の状況にあり、女性の入会促進が最優先の課題となっています。



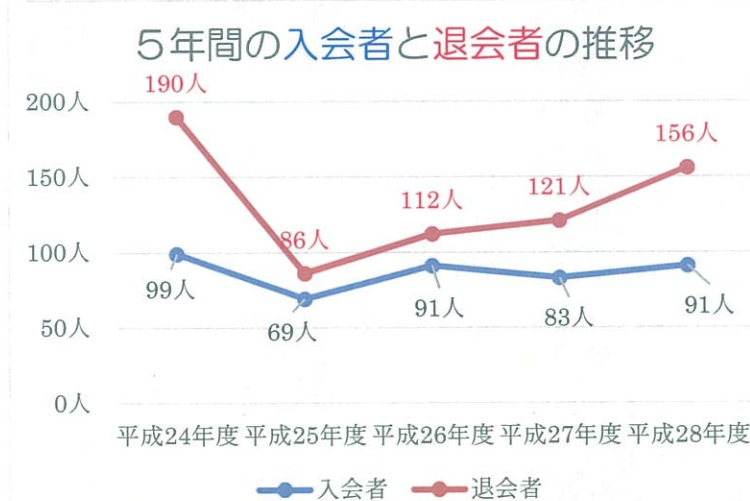
第三次中期計画では、5年後の最終年となる平成33年度の「基本目標」を設定

目標年 平成33年度	会員数	1,091人	全国100万人を目指しての 廿日市市SCの設定です。
	契約金額(請負・委任)	402,500千円	平成28年度見込みの概ね5% の増加(注:28年度見込みは 計画策定時点です。)
	契約金額(シルバー派遣)	21,100千円	

会員の活躍はシルバー事業の源であるとともに「生涯現役社会」の実現です。センターでは、より一層会員を増強し、就業機会を拡充することで、地域社会の活力を支える役割を果たします。

## 会員を増やし、元気なセンターを目指して！

### 5年間の入会・退会者の推移(廿日市市SC)



65歳の定年延長や継続雇用が定着する中で、全国のシルバー人材センターが会員100万人を目指し会員拡大に取り組んでいますが、会員の確保は「横這い・足踏み状態」にあります。当センターも、過去5年間の入会者は伸び悩み状態で、加えて加齢等による退会者が増えつつあります。センターの就業と会員のバランス上では、会員の増強が喫緊の課題となっており、特に女性会員の増強・確保と女性が活躍できる仕事の開拓が必要です。



●国の「働き方改革実行計画(H29.3)」では、高齢者の7割近くが65歳を超えても働きたいと願うも、実際に働く人は2割にとどまっているとされ、労働力人口が減少する中で我が国の成長力を確保するため、意欲ある高齢者がエイジレスに働くための多様な就業機会の提供が必要であるとしています。

会員の獲得に向けた活動



センターでは総務部会、普及啓発部会の役員が合同で入会促進に努めています。



1会員1入会  
にご協力を！



こうした中で、**“当センターは、平成30(2018)年6月には「設立30年目」**を迎えます。





シルバー

# はつかいち 通信

自 自 共 共  
主 立 働 助

(全国統一 安全就業スローガン)

事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな

## お知らせ

事務局の年末年始の休み

12月29日(金)

～1月3日(水)

## 「新年互礼会」の開催案内

会員同士の強い結束を目指し、新年互礼会を開催します。

- ◎ 日 時 平成30年1月14日(日)11:00～14:00
  - ◎ 場 所 安芸グランドホテル(廿日市市 宮島口西1-1-17)
  - ◎ 参加費 6,000円
  - ◎ 申込締切 1月5日(金)(参加費を添えてお申し込みください。)
- ※ JR宮島口駅から、ホテルまでのピストン送迎があります。  
佐伯地域に限り、送迎があります。

## 「配分金支払証明書」の配布について

平成29年分(平成29年1月～12月支払い分)の「配分金支払証明書」は、12月の配分金明細書と一緒に配布します。1月22日(月)頃を予定しています。

## お願い

### <12月分の就業報告書の提出について>

12月分の配分金の支払日は、1月25日(木)です。

この支払い日に間に合わせるために、12月分の就業報告書は、1月5日(金)までに、事務局にご提出ください。なお、事務局は1月3日まで休みとなっておりますので、休み期間中に持参される方は、シルバー事務所の「ポスト」に投函してください。ご協力をよろしくお願いいたします。

## 山口長門方面旅行記(11月29日～30日) 「なごみの会」の親睦活動

### \*\*\*\*\* 平成29年中の活動報告

出発時は曇りがちでしたが、山々の紅葉を眺めながら秋吉カルスト台地に到着、緑の大地の印象から一転枯れ草の大地も珍しく見えた。2017年春に新オープン!萩・明倫学者(日本最大の木造校舎)は建物も見ごたえあり館内では世界遺産「明治日本の産業革命、遺産」紹介する「世界ビジターセンター」や、幕末の歴史をひもとく貴重な資料が一堂に紹介する「幕末ミュージアム」がありました。天文・地理・医学技術(機械)など貴重な資料も展示されていました。また元乃隅稲成神社の赤い鳥居が123基と印象的でした。賽銭箱が頭上にありお金を投げ入れると願いが叶うと言われていましたがお金を投げ入れる事に必死の姿がありました。次のコバルトブルーのきれいな海を眺めて進む本州と角島を結ぶ橋も眺めがよかったです。バスの中での笑い声も絶えない旅でした。歩くときは足元に気を付け、たくさんのショッピングを楽しんだ2日間でした。(佐藤博子)

「一泊旅行」  
秋吉台～長門湯本～角島方面



元乃隅稲成神社



なごみの会「万華鏡づくり」を終えて

平成29年12月2日(土)

師走の寒い日でしたが、初めて万華鏡を作る人達で和やかな開始でした。「天候に左右されず」「暖かい部屋」で、「足腰が弱った人も」誰でも参加できる「なごみの会」事業のひとつとして、今回第1回目を開催しました。皆さん万華鏡の中の被写体(屈折模様)をいかに綺麗に見せるかに挑戦、色々なカラービーズを増やしたり、減らしたり、カラーセロファン破片の組み合わせなど、それぞれ独自の万華鏡を完成しました。制作過程の奮闘が当日一番のにぎわいでした。中には、孫や友達のためにもうひとつ作成される人もいて、とても盛り上がった会となりました。完成した万華鏡は、お茶を飲みながらの品評会となり、個性豊かな作品に大変満足の日でした。参加者の中には、来年度の開催を希望される人たちもいて、我々スタッフ一同も充実した時でした。(小島廣次)



「鏡の宝箱」  
万華鏡づくりに挑戦



● 新入会員の紹介 (敬称略)

平成29年11月1日~11月30日まで

	地域班	新入会員氏名
廿日市	四季が丘	下岡 清隆
	阿品台	新田 伴明

平成29年度11月<事故報告>

月/日	性別	年齢	作業名	事故種類	事故の状況	原因	今後の対策	賠償保険金
11月2日	男	74歳	除草	物損事故	刈り払い機の作業中、飛び石により車両側面ガラスを破損した物損事故	安全対策が不十分でした。	車両を安全な場所へ移動して作業をする。	未定
11月8日	男	69歳	軽作業	人身事故	自転車で通勤途上、傘が車輪に挟まれて転倒し右手や顔に怪我をしました。	自転車運転において安全対策が不十分でした。	運転時、傘を使用しません。	
11月13日	男	71歳	剪定	物損事故	剪定作業中、切った枝が屋根瓦に落下して瓦を破損した物損事故	周囲の状況判断が不十分でした。	周囲の安全確認を配慮します。	

平成30年、寒さ一層厳しい季節でスタート。風邪、インフルエンザ、ノロウイルスなどの感染にご注意を。また冬場には、火災の発生件数が多くなりがち、ご家庭では、特に「火の始末」を念入りに!! 本年も、事務局職員一同、よろしくお願い申し上げます。

